とき 2025年 8月9日(土) 10日(日)

会場

8月9日 全体会

広島国際会議場

広島市中区中島町1-5 JR 広島駅から

- ·路線バス:南口 A-3 番バスのりばより、
 - 広島バス 24 号線吉島営業所または吉島病院行「平和記念公園」下車すぐ
- ・広島電鉄 市内①広島港(宇品)行「本通」もしくは「袋町」下車、徒歩約5分 もしくは市内②西広島(己斐)、市内⑥江波、②宮島行「原爆ドーム前」下車 徒歩約5分
- ・タクシー 所要時間約 15 分

8月10日 分科会・学習講座

広島工業大学専門学校

広島市西区福島町2丁目1-1 JR西広島駅から

- ・徒歩約8分
- ・広島電鉄・宮島線または市内③「西観音町」下車、徒歩約1分

JR広島駅から

・広島電鉄②宮島行 「西観音町」下車、徒歩約1分

広島市総合福祉センター

広島市南区松原町5-1

JR広島駅前 BIG FRONTひろしま5階・6階

全国障害者問題研究会

第59回全国大会

広島2025

大会テーマ

つながろう つなげよう みんなのねがいかがやかせよう みんなのいのち へいわの わ えがおの わ

後援 広島県/広島市/社会福祉法人広島県社会福祉協議会/ 社会福祉法人広島市社会福祉協議会

協賛 日本障害者協議会/障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会

/きょうされん/全国肢体障害者団体連絡協議会/全国手話通訳問題研究会

/全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会/全国心臓病の子どもを守る会/全日本視覚障害者協議会/全日本ろうあ連盟/日本自閉症協会/日本知的障害者福祉協会/日本てんかん協会/人間発達研究所/公益財団法人ひかり協会

主催

全国障害者問題研究会

162-0801 東京都新宿区山吹町4-7 新宿山吹町ビル5階 TEL 03-6265-0193 FAX03-6265-0194 大会専用メール hiroshima59@nginet.or.jp

全障研第59回全国大会(広島2025)準備委員会



参加申込はこちらから

第59回全国大会特設サイト



全障研HP

https://www.nginet.or.jp

被爆80周年にあたる2025年大会を広島で開催します。核兵器使用の未曾有の危機が高まりつつある今、 広島に集い、障害者問題、平和の問題について学び合い、語り合いませんか。テーマとロゴマークにあるように、世代を越えてつながり、みんなのねがいをつなげ、みんなの命を輝かせ、笑顔で平和の輪が築ける大会になるよう急ピッチで準備をすすめています。広島に来てよかったと思える文化行事、広島企画を準備しています。1日目の全体会は、広島平和公園にある広島国際会議場で行われます。

奈良大会に続き、顔をつき合わせて学び合い、語り合うことのできる対面集会となります。どうか切実な悩みと、大切に守りつないできたねがいをお持ちよりください。多世代の教員、支援者の皆様、障害当事者、で家族の皆様、お誘いあわせの上、たくさんの皆様のご参加を心よりお待ちしています。

全国障害者問題研究会第59回全国大会(広島)準備委員長 高橋 実

大会日程

	9)	10	11	12	13	14		15	16	17	18
	8/9				受	付	至	体会			(全国総	会)
	(土)				保		ー 育・なかまのつどい		١			
		受		分科会	屋	喰	,	分科会	<u> </u>			
8	$\frac{3}{10}$	付	学	習講座	屋	喰	计	褶講	座			
	(日)	保育・なかまのつどい										

8月9日(土) 全体会(広島国際会議場)

*後日、録画配信の視聴ができます(8/20~9/30)

12:00 受付

12:40 オープニング 亀山子供神楽 「八岐大蛇」

13:00 開 会

基調報告 全障研常任全国委員会

重点報告 秋保喜美子さん (障害者自立支援法違憲訴訟元原告)

13:45 記念講演

平和とは何か

~世界のヒバクシャの視点から~



髙垣 慶太 さん

(都立第五福竜丸展示館インターンほか)

広島市出身。赤十字国際委員会よりユース代表として核兵器禁止条約の締約国会議に3度派遣される。マーシャル諸島で聞き取りを行うなど「世界中の核被害」を学び、若い世代と一緒に考える場づくりにも取り組む。2025年3月早稲田大学卒業。

14:45 休 憩

15:15 文化行事 合唱構成

つながろう つなげよう みんなのねがい

 \sim ひとりひとりのねがいを うたにのせて ひろしまから \sim $\mathbf{平和}$ \mathbf{Y} \mathbf{v} \mathbf{t} \mathbf{v} \mathbf{v}

16:00 大会ガイダンス・諸連絡等

16:15 閉会

8月10日(日) 分科会

(広島工業大学専門学校・広島市総合福祉センター)

9:00 受付 分科会 9:30~16:30

8月10日(日) 学習講座(広島工業大学専門学校)

*後日、録画配信の視聴ができます(8/20~9/30)

10:00~11:30

① 障害者権利条約、北欧と発達保障 薗部 英夫 さん (全障研副委員長・JD副代表)

11:30~13:00 昼食

13:00~14:00

② 発達の煌めきは「みんな」のなかに ~発達を学ぶあなたへ~

白石 正久 さん (龍谷大学名誉教授)

14:15~15:15

③ 仲間がいっぱい ひろしまの療育 ~いつでも どこでも だれとでも~

"障害児の母として 支援者として 今思うこと" 幸田 千代子 さん (元療育センター職員)

15:30~16:30 さまよ

④ 彷徨う居場所 ~入所施設削減の陰で~ 九内 康夫 さん

(全国障害児者の暮らしの場を考える会事務局長)



全障研の月刊誌「みんなのねがい」



全障研の研究誌 「障害者問題研究」



全障研の出版物オンライン注文



分科会名	主な内容
73 1 4 6	_ 5/1 3 L

◇乳幼児期の実践

早期発見・対応、地域療育システム	母子保健・地域保健、健診、親子教室、児童発達支援センター・事業、子育て支援、相 談支援など
保育所等および専門施設における保育・療育の 実践(1)発達のおくれ、知的障害ほか	発達のおくれのある子どもの理解と保育実践、あそび、集団づくりなど
	自閉スペクトラム症、発達障害のある子どもの理解と保育実践、コミュニケーション、 集団保育と個別のかかわり、あそび、育児相談など
	肢体不自由や重い障害のある子どもの保育・療育、あそび、訓練、医療的ケア、職種間 の連携など

◇学齢期の実践

通常学校における教育(通級指導を含む)	通常学校・学級における教育実践、通級指導の実践、校内支援体制、コーディネーター、巡回相談など
障害児学級の実践、交流・共同教育	授業、教材、集団編成、教育課程、通常学級や通級との連携、学び合い、育ち合う交 流、共同教育、障害理解学習、自分理解学習など
障害児学校の実践(1)幼稚部・小学部	幼稚部・小学部の授業、教材、集団編成、教育課程、学部や職業コース等の連携など
障害児学校の実践 (2) 中学部・高等部	中学部・高等部の授業、教材、集団編成、教育課程、学部や職業コース等の連携など
放課後保障と地域生活	放課後デイや学童保育の実践、子ども理解、集団づくり、事業所運営、地域や学校との 連携など

◇青年期、成人期の実践

学ぶ、楽しむ、文化活動	青年期の発達と教育、教育年限延長、専攻科の実践、社会教育、生涯学習、音楽や演劇、絵画などの活動、余暇活動の場づくりと制度化
働く	就労保障と所得保障、働きがい・生きがい、仕事内容、作業所・施設づくり、地域との 連携など 企業における支援など
障害の重い人の生活と支援	障害の重い人たちへの支援と活動づくり、医療的ケア、施設や制度の整備など
暮らしの場での支援	グループホームや生活施設での実践、ショートステイ、職員体制、生活づくり、通院や 買い物の支援、制度の改善など
地域での生活と支援	自立へのねがい、所得保障、相談支援、ヘルパー、ボランティア、家庭生活、子育てな ど

◇ライフステージを貫く実践と課題

重症心身障害、肢体不自由のある人たちの生活 と発達	重症心身障害、肢体不自由のある人たちへの実践健康状態の把握、姿勢、摂食、要求表現、感覚、模倣、コミュニケーション手段、自立活動、訪問教育など
知的障害のある人たちの生活と発達	子ども理解と教育実践、教育課程、個別の指導と集団づくり、青年期の発達など
自閉スペクトラム症、発達障害の人たちの生活 と発達	発達とライフステージを見通した実践、「問題行動」や「こだわり」のとらえ方、個別の指導と集団、障害特性と実践、障害の発見、学校や進路の選択、就労、大学教育など
障害のある人の性と生	性的にも健康に人間らしく生きる権利、自慰、恋愛、年齢や発達、障害に応じた教育や 支援の実践交流、性教育攻撃の動向など
障害者運動	社会保障制度の動向、介護保険と障害者福祉、権利条約・総括所見と課題、「基本合意」実現をめざす運動、参政権、成年後見など
親、きょうだい、家族	きょうだいの悩み、親の悩み、成年後見、ケアの社会化など

◇特別分科会

特別1	インクルーシブ教育と教育条件整備	インクルーシブ教育、学校や学級の新増設、学校設置基準、教育条件整備
特別2	なかまの分科会	広島で活動している仲間の会の紹介や平和をテーマに話し合いをします

分科会レポートの提出について

- ①レポートを予定している人は全国事務局に「レポート作成の手引き」を請求してください。レポート手引きをもとに、6月13日(金)までに「レポート提出計画書」の提出をお願いします。
- ②「手引き」にある「プライバシーの保護に関する留意事項」を守り、所定の形式で 7月1日(火)までに全国事務局に提出してください。レポートは参加者に配布される「大会要項・レポート集」に掲載し、参加者に配布します。
- ◎事前連絡のない"当日持込"は、分科会では発表できません。

○会員 7,000円

○一般 8.000 円

○配信視聴限定 5,500 円

*「配信視聴限定」の参加費は大会報告集代を含む

○障害者・学生(会員) 3,500円

○障害者・学生(一般) 4.000円

*参加費はいずれも全体会及び学習講座の録画配信(8/20~9/30)の視聴代を含んでいます。

- *会場参加者で「大会報告集」(予約特価=2200円・税込み送料サービス)を希望される方は申込時に予約することができます。
- *参加申込時に全障研に入会(年会費3000円)することもできます。
- *録画配信(全体会及び学習講座)の視聴だけでの参加を希望される場合は「配信視聴限定」でお申し込み下さい。ただし、障害者・学生の方は録画配信視聴のみを希望される場合も「障害者・学生(一般)」あるいは「障害者・学生(会員)」でお申し込み下さい。会場参加でない「配信視聴限定」の方の「要項・レポート集」は電子版(PDF)のみとなります。「大会報告集」(12月刊行予定)をお送りします。
- *宿泊、弁当の受付は行いません。各自で手配、用意してください。

参加申込方法

申込締切日

7月21日 (月)

全障研ホームページで案内する**申込フォーム(ウェブサイト)** からの申込となります。 (6月1日 受付開始)

◎[当日参加]はありません。必ず事前申し込みをお願いします。

■申込手順

①事前の準備・確認をする

【大会参加の申込の案内はこちら】

https://www.paipatarip/schadula7h

https://www.nginet.or.jp/schedule7.html

申込の登録メールアドレスあてに全障研あるいは受付フォームよりメールを送信します。

全障研と受付フォーム(@nginet.or.jpと@form.runのドメイン)からのメールを受け取れるように設定してから申込をお願いします。

特にdocomo.ne.jp ezweb.ne.jp softbank.jp など携帯会社のキャリアメールをお使いの場合は必ず確認をしてください。

*携帯電話各キャリアでの設定方法については全障研ホームページに掲載している資料も参考にしてください。

②申込みをする(6月1日から7月21日まで)

- ・申込みサイトにパソコンかスマホでアクセスして、必要事項を記入して申込みをしてください。
- ・参加者ごとに申込みください。なお、申込の重複を避けるために同じ端末から複数回の申込はできません。ご注意ください。
- ・必須事項はもれなく記入してください。(メールアドレスは正確に。住所は建物名・部屋番号、施設名などももれなく)
- ・分科会の変更、メールアドレスなどの変更は後日でも可能です。メールでご連絡ください。
- ・参加費の振り込みが申込者と異なる場合(公費、法人、代表者がまとめてなど)は振込者の「名義人」をご記入ください。
- *集団での「配信視聴限定」参加を希望される場合は、代表者のお名前でお申し込みください。折り返し、担当者から詳細をお伺いする連絡をします。

③返信メールを確認する

- ・申込受付の確認メール(自動返信)を登録メールアドレスあてにお送りします。届かない場合はすぐに全国事務局にメールか電話でご連絡ください。
- ・メールサーバやメールソフトによっては「迷惑メール」フォルダや「プロモーション」フォルダに仕分けされることもあるので、確認ください。

④参加費(保育・なかまのつどい費なども含めて)を指定口座に振り込む(7月29日まで)

- ・振込料金についてはご負担をお願いします。
- ・公費、法人、複数人でまとめての振込については事務局にメールでご連絡をお願いします。
- ・入金を確認後にメールで「参加証」をお送りします。印刷するかスマホに保存し、当日受付で提示してください。

■キャンセル、悪天候等による開催中止の場合など

- ・入金後の返金はできません。
- ・開催を中止する場合は、原則として前日の17時までに決定して、全障研のホームページ(https://www.nginet.or.jp)で発表します。 開催を中止した場合は、参加費は返金できません。後日、大会準備委員会より「大会要項・レポート集」を送ります。

【保育、なかまのつどいを希望される場合】

- ○参加申込と合わせて、6月30日 までに参加申込をお願いします。申込者には後日、準備委員会から詳細についてお伺いします。
- ◎保育(小学生以下)・なかまのつどい(中学生以上の障害のある青年成人)の方は大会参加費はいりません。 別途、保育・なかまのつどい費と弁当代(希望者)が必要となります。大会参加費と合わせて指定□座への振込をお願いします。
- 1日目=国際会議場 コスモス中会議室

保育・なかまのつどい費:500円

2日目=広工大専門学校近くの保育園 他 保育・なかまのつどい費:500円

弁当 保育=600円 なかまのつどい=800円

【移動支援、情報保障などのサポートを希望される場合】

- ○参加申込と合わせて、 6月30日 までに参加申込をお願いします。申 込者には後日、準備委員会から詳細についてお伺いします。
- ◎会場参加者で、点字あるいはテキストデータでの「要項・レポート 集」を希望される方は事前にご連絡をお願いします。

*バリアフリーのホテルのご利用を希望される方はお問合せください。

名鉄観光サービス(株)広島支店

(担当)出張(ではり)、西上(にしうえ)

TEL(082)263-2282 FAX(082)263-2284

E-mail hiroshima59@mwt.co.jp **締切7月11日(金)** ※パリアフリーホテルの確保数に

締切7月11日 (金) ※バリアフリーホテルの確保数には限りがありますのでご要望に添えない場合もございます。

*介護タクシーのご利用を希望される方はお問合せ・ご相談ください。

一般社団法人オレンジ オレンジ介護タクシーグループ

TEL (082)297-7820

https://www.h-orange.com/taxi_group ※台数には限りがございますので、お早めにお問合せ・ご相談ください。